

せたがや 町総連だより

第 31 号

発行 世田谷区町会総連合会
世田谷区若林 4-31-9
ポライト第2ビル202
☎・FAX 5481-3456

発行人 会長 後藤 正三
編集 情報誌編集委員会
編集委員長 鈴木 誠

…… 広報のICT化検討5人委員会名簿 ……

氏名	所属町名・自治会 (役職)	地域
堀江 義之	若林町会(総務部長)	世田谷
土屋 光男	下代田町会(広報担当)	北沢
原田 隆明	尾山台町自治会(会長)	玉川
田淵 茂	フレール西経堂自治会(副会長)	砧
渡辺 卓子	八幡山町会(事務局長)	烏山

町総連ホームページの公開について

世田谷区町会総連合会 会長 後藤 正三

町会・自治会による情報発信を推進することで取り組み内容や魅力を広くPRし、加入促進等を図っていくとともに、町会・自治会活動の更なる活性化につなげていくため、「平成21年度東京都地域の底力再生事業助成」を活用してホームページを作成しました。

作成に当たっては、各地域から推薦された5人の委員により、4回にわたって掲載内容やデザインを検討いただき、平成22年4月1日から公開しております。町会・自治会からの投稿や、会員が撮影した写真によつて内容を充実させていきたいと考えますので、ご協力をよろしく願います。

一、ホームページの機能と記事

- 活動紹介の機能
- *町会・自治会って何ですか？ (町会・自治会の概要)
- *町会・自治会はどんなことをやっているんですか？ (活動紹介)
- *町会総連合会紹介 (連合会の概要や「町総連だより」を掲載)
- 単位町会・自治会の応援機能
- *加入案内 (ホームページで町会・自治会加入申し込みを受け付け)

二、町総連ホームページの利用

- *町会・自治会の区域案内 (町丁目を入力すると町会・自治会が探せる)
- *ホームページを開設している町会・自治会ホームページへのリンク
- *「単位町会・自治会のミニ・ホームページ」コーナー
- *「お知らせ」コーナー (新しいニュースの発信やイベント案内等)
- 参加と交流の機能
- *「今月の「せたがやの風景」(会員投稿写真コーナー)
- *町会・自治会のイベント紹介や活動の担い手募集に活用できる「お知らせ」コーナー
- 「町会・自治会ミニ・ホームページ」の作成
- 原稿及び写真を電子データで町総連に提供してください。町総連が

目次

町総連ホームページの公開について …… 1	烏山地域 第1回からすやま下町まつり開催 …… 5
町会自治会交流会における講演要旨 …… 2	芦花公園駅周辺地区街づくり協議会発足 …… 6
地域情報	烏山地域防災訓練行方 …… 6
北沢地域 いつまでも安心して住み続けたい町に …… 3	世田谷地域 地域振興と思いやりのある町会活動 …… 7
玉川地域 上野毛町会の近況報告 …… 4	編集後記 …… 8
砧地域 古くて新しい地域の町会 …… 4	

「ミニ・ホームページ」コーナーへの掲載手続きを行います。

○今月の「せたがやの風景」や「お知らせ」コーナーへの投稿

原稿及び写真を電子データで町総連に提供してください。町総連が掲載手続きを行います。

（「せたがやの風景」は毎月1点掲載）

町総連ホームページアドレスは
<http://www.setagaya-chousouren.org/> です。

町会・自治会交流会における講演要旨

平成21年12月4日、北沢タウンホールにおいて、町会・自治会交流会が開催されました。

山梨学院大学の日高昭夫教授に「町会・自治会の役割と課題―再評価とさらなる活性化をめざして」と題して、講演をお願いしました。

日高教授は、20年ほど前に山梨県に越してこられました。村の美しさが維持されてきた背景には、伝統的なコミュニティや取り組みがあり、それを継承している組織が町内会であると、講演の冒頭、述べておられました。

今号では、その講演の要旨をお伝えします。

《町会・自治会(町内会)とは何か?》

町会・自治会は、住民の地縁でつながっている親睦の団体であると同時に、古いしきたりやルールの上に、今日的な課題が加わり、行政と一体となって地域の安全や快適性、環境を維持する取り組みを行っている組織です。広い意味で「日本独特の地方自治を支えるシステムの一つ」、「公共サービス」の担い手」と位置づけられます。

町会・自治会は、日本特有の地方自治の歴史が生み

出した産物であり、江戸時代から継続してきた自主的取り組みを基盤とした旧村に町会・自治会のルーツがあることが確認できます。また、歴史的に、町会・自治会は、行政と密接な協働体制を形成してきたことが大きな特徴です。

《町会・自治会の役割》

町会・自治会は、行政と連携して行う事業が多いのが現状です。

その役割の一つは「窓口」補助事務ですが、これは次第に衰退しています。次は、地区要望の取次ぎや各種委員の推薦、行政のお知らせの配布や回覧などの「媒介(住民と行政のパイプ役)」です。3つ目が、防災訓練や防犯活動などの「社会資源の提供(協働)」です。また、議会制度が充実したり、NPOや住民参加制度が充実した地域の町会・自治会は、幅広い活動の焦点を今後どこに絞り、どのような特色を出すかについて再検討する必要があります。

次に、行政が町会・自治会に期待する機能について調査したところ、自主性に基く「継続性」、「実行性」でした。継続して組織的に実行できる体制について、

町会・自治会は非常に高く評価され、期待も高いことが分かります。「継続性」、「実行性」が機能する基盤にあるのは、組や班という単位で情報やコミュニケーションが行われる近隣関係だと考えます。

また、NPOにはできない、町内会ならではの活動―地域住民の参加・負担・合意で地域の「付加価値」を高める活動があります。

例えば、「防犯灯」の維持管理や、地域防犯、地区広報など地域分散的公共サービスや、ごみの分別・資源回収、団地内の迷惑駐車対策、地区協定による環境の維持や憲章づくりなどコミュニティ・ルールによる地域自治がそれです。

今日的な課題の中で、共通の利益や公共の価値を守る、かつて「村掟」と言われたコミュニティ・ルールをつくっていく必要性が増してきているのではないのでしょうか。町会・自治会が果たす役割は決して小さくないと思います。

《町会・自治会の活性化をはかるために「マネジメント手法の応用」》

「遠くの親類より近くの他人」という地縁的絆が町会・自治会の持ち味です。親睦事業、お祭りも大事です。

さらに、その本来持つている持ち味は、私が「村度の社会心理」と呼んでいる「お隣さんには迷惑がかけられない」という考え方で、互いにご近所や地域を思いやる気持ちを共有できるかどうか非常に重要であり、それが地域の「付加価値」を高めると考えていく必要があるのではないのでしょうか。

加入率低下の中で、世田谷の先達に学ぶこともあります。「町会に入ってから前」という前提に立たず、「どうぞお入り下さい。それによってあなたも快適な生活の仲間に入れますよ」という考え方が昔から世田谷にはあったということですね。昭和35年ごろの「船橋防犯会」改め「舟橋会」が非常に丁寧に入会を案内していたことが「世田谷区史」に取り上げられています。

このような歴史の積み重ねの上にさらなる活性化を目指して様々な取り組みを行っていただきますことを祈念いたします。

北沢地域

地域情報

いつまでも安心して住み続けたい町に

桜上水五丁目自治会長 松下寛子



道路銘板

桜上水五丁目は京王線桜上水駅の南側（一部北側にもある）に広がる静かな住宅地です。

その自治会は約1600世帯で構成されています。ここ10年間に戸建て、マンション、店舗等一軒一軒に声をかけ、個人のアパートからもオーナーの申告で会費をいただくシステムを作りました。自治会加入率は約95%にもなります。町内にある広いとはいえない公園ですが、この桜上水公園を中心いろいろな行事が広がっています。秋の「花による緑化推進事業」で球根を沢山植え、今、春の花々が美しく咲いています。

また、世田谷区と「公園管理協定」を結び、毎週1回、公園の清掃に汗を流しています。このところ、近くにある都立松原高校の生徒さん達もボランティアの一環として協力してくれています。熊手や箒を初めて見たり、草取りもやったことがないという子どもがいてびっくりさせられますが若さというエネルギーをもらっているような気がします。

夏のラジオ体操は10日間、1日平均150名の参加があります。中間の日曜日には体操終了後、的当て、輪投げ、スーパードールすくい等の子どもゲーム大会や親子で楽しむすいか割りなどをしました。

秋には樹木医の先生を招いて公園の木々についてのお話会。冬、12月には餅つき大会を行い、地域の2つの小学校のPTAのお父さん、お母さんも参加してつきたてのお餅をほおばりました。

ます。

とじこもりの高齢者を少しでも外へ、との思いで始めたふれあいサロン「さくら」も毎月1回催しています。この3月には、その拡大版ということで手作りの幕の内弁当を作り、50数名の参加者のもとコーラス等で楽しいひとときをもちました。

成城警察署の方と一緒に町内をまわる「皆んなでパトロール」や中学生を交えての避難所訓練、災害時要援護者支援事業等も行っています。町会でやらなければならぬ事業はまだまだ沢山あります。

子どもから高齢者まで住民一人ひとりが健康でお互いを思いやり、いつまでも安心して住み続ける町を実現するためには、身近な地域での住民同士が知り合い、ふれあい、支えあう絆作りがいかに大切かを痛感しています。

絆が深まれば、いざという時にはすごい力が生まれ、誰でも気楽に参加できる住民皆の自治会にしたいと思っています。

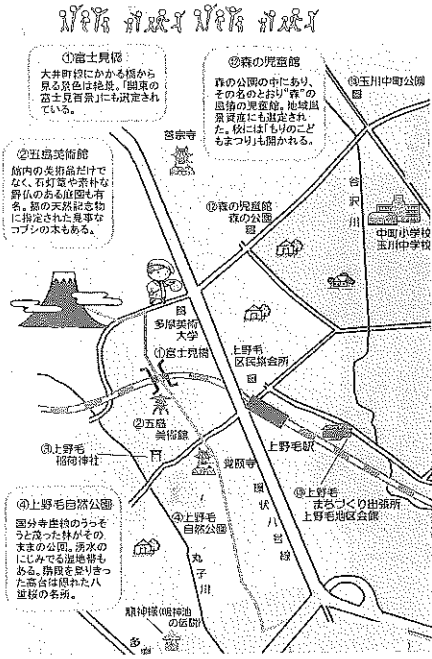
玉川地域

上野毛町会の近況報告

上野毛町会会長 片瀬 松夫

上野毛町会は南北に細長い町会です。東急大井町線の上野毛駅を中心に環状八号線の内側の1丁目と4丁目には商店街と住宅街が混在しています。外側の2丁目と3丁目の環状八号線沿いは商店街・会社等がありますが、ほぼ閑静な住宅街で、2丁目には国分寺崖線沿いに上野毛自然公園があり湧水も見ることができ、桜の時期はお勧めのスポットで、高齢者クラブ上野毛若葉会のゲートボール

の練習場所でもあります。3丁目には稲荷坂沿いに上野毛町会の氏神様を祭っている上野毛稲荷神社と、多くの方々が見学に訪れている五島美術館があり、年間を通して各種の催し物、展示等が行われております。五島美術館の脇の大井町線には富士見橋がかかっており、晴れた日には丹沢山系の後ろに富士山が綺麗に見られます。しかしながら現在、二子玉川東地区の開発が進んできており、以前の



砧地域

ような雄大な景色が見られなくなってきたのが大変残念です。又、再開発の関係で、東急自動車学校が21年度で閉校となり、跡地も含めその後には玉川町会と二子玉川公園(仮称)に平成

26年度には生まれ変わる予定で、合わせて何年かかるか分かりませんが、駒沢通りと上野毛通りの拡幅工事が動き始めており、当然、上野毛町会内では大きな工事が続きます。

月にはすでに急行運転が開始されており、駅舎全体の完成は平成23年3月の予定で、急行の通過待ち駅という不便さはありますが、地域要望も取り入れてもらい駐輪場の設置、改札口も上野毛通りを挟んで両側に設置をしていただき使い勝手の良い駅になると思いますが、ただ、歩道の幅員の狭さが難点です。

上野毛町会内ではもう一つ大きな事業が行われております。それは上野毛駅の急行の通過待ちと合わせてのバリアフリー化の改良工事です。この工事は建築家の安藤忠雄さんの設計で、平成18年より始まり20年3

以上、上野毛町会の近況報告を書かせていただきました。

古くて新しい地域の町会

千歳台南会会長 丸山 晴男

一、古きを尋ねて
千歳台1丁目の一角にある千歳台南会町会の区域にも戸建て分譲住宅が毎年少しずつ建ち地域の住民が若返っています。

て町内会を作ろうと話し合った。それが今の千歳台南会。」と12代続いて世田谷の農業を支える町会設立者のお一人の言。

二、町会の提携団体

世田谷のすべての町会同様、当町会には多くの提携団体に支えられています。

一番の提携団体は、祖師谷、千歳台の12の町会が構成団体となっている「身近

かなまちづくり推進協議会」とその事務局をしている祖師谷まちづくりセンターです。同センターの管轄範囲は世帯数一万二千、人口二万四千人、コミュニティ活動はまちづくり推進として、丁度良い大きさ。構成12町会が比較的小きな規模の町会で成り立っているのも12町会合同の取り組みが円滑に進むのに役立っているようです。当町会はその

昭和2年小田急線が開通し交通の便が良くなって宅地開発が始まった。終戦直後の近所の住宅は8軒だった「昭和47年環状8号線道路の開通で環8南側になったご近所です」とまっ

中でも一段と小さな規模ですが、5部会とごみ減量リサイクル推進委員会、青少年地区委員会等に委員が参加しています。

祖師谷(千歳台)ふるさとフェスティバルは大変楽しみなお祭りです。昨年は地域在住の演歌歌手神野美伽さん特別参加の、のど自慢大会が盛り上がりました。祖師谷地区社協の活動も目を見張る様です。高齢者、障害者、子育て世代の皆さんの様々な活動が地域の大勢の参加を得て進められています。

防火活動、防火防災活動は成城防犯協会、同防火防災協会に所属しています。住民の安全を守る基本となるものです。共働きの日中不在のお宅が不幸にして火災や盗難にあっても警察・消防に連絡できず、町会が緊急連絡をお手伝いする事態もありえます。地域防災訓練は、一番近距離にある小学校が会場です。その小学校の近所4町会が参加します。避難所運営本部構成員には大勢の町会会員が参加しています。



ミニコンサート

面白いことに運営本部長殿は、ヒマラヤ登山隊のベテラン隊員で、素人ばかりのところでは如何に避難所を設立し運営するか大変な情熱を注いでくれます。一時集会場所である近くの区立公園での防火訓練は、近所の2町会が参加します。

三、町会独自の取り組み
町会ではこの春、桜の下のミニ・コンサートを実施しました。

旧デパート研修所跡のマンションが完成、緑地帯等の環境空地に昔からある桜

の巨樹が8本生き残り、今年も元気に満開の桜の花を付けました。4月3日、町内の桜を見る会「桜の下のミニ・コンサート」です。5人の奏者によるクラリネット演奏が終りに近づくアンコールの拍手。アンコール曲に乗って大勢の拍手と体を動かす子ども達。会場の一体感が盛り上がりました。ご高齢の参加者用に用意したイスが不足、演奏者荷物置きイスまで持ち出しました。マンションの方を含め、若い方、ご高齢の方、子ども達等が大勢、桜の下の演奏を聴きに集まってくれました。

烏山地域

第一回からすやま下町まじり開催

烏山下町会 高橋 隆

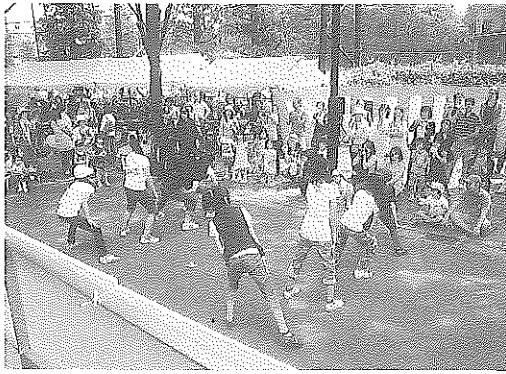
町会には若い世代も少しずつ増えていますが、なんとってもご高齢の方が多いため、敬老事業だけでなく、一寸した建具・電気器具等の修繕を手伝う「町内お助け隊」を発足させています。病院見舞い搬送、ラジカセ修理、フェンス修理、パソコン点検など利用は少しずつ広がる感じですが、古着回収、リサイクルバザーは人気があります。子ども達の小さくなった衣類は友人や親戚の小さな子ども達に回しますが、大人の場合にはそうはいきません。ごみ減量リサイクル推進協会の古着回収はアジアの人たちへ

ちへの衣類提供と我が家の収納スペース拡大で豊かな気持ちにしてくれます。町会独自のふるさとフェスティバル会場でのリサイクルバザーも毎年人気です。町会員からの提供品も多いため、多数お手伝いボランティアとして参加してくれています。ご高齢の方が、住み慣れた地域で健康に生き甲斐をもって暮らすのに、町会がどんなお手伝いがあるか、又、少しずつ増えている若い世代の方にどう地域と親しむ機会を提供していくか、挑戦は続きます。

長年の懸案であった町会主催の行事として、烏山下町会では、平成22年5月22日土曜日、「第1回からすやま下町まつり」を開催しました。京王線芦花公園駅から、南に徒歩5分ほどのところにある世田谷文学館の南側の道路を車両通行止

めにして、やきそば、わたし、餅などの模擬店、割り箸鉄砲、折り紙、わら細工などのむかしの子ども遊びコーナー、野菜の直売、ジャズの演奏、ダンスなど盛りだくさんの行事を行いました。また、当日、世田谷文学館は無料開放となり、文

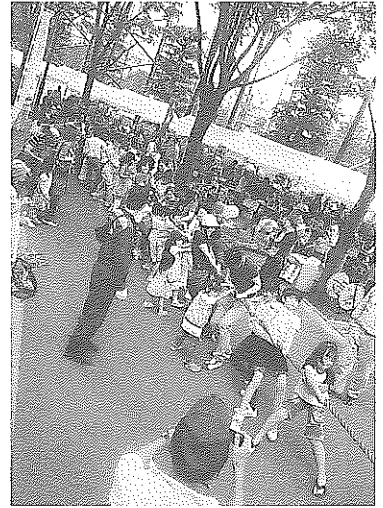
学館の館内をお借りして、郷土史家の下山照夫先生の講演会、芦花小学校生徒の歩行禁煙ポスター展、芦花中学校生徒の歩行禁煙標語展、烏山の今昔写真展などを行いました。幸い好天に恵まれ、予想以上の来場者がありました。



ヒップホップダンス

当日は、近隣自治会、地元の各種団体の方々が、準備、模擬店などの運営、そして、片付けとご協力いただき、行事がたいへんスムーズに進行しました。地元の方々のご支援にたいへん感謝しております。

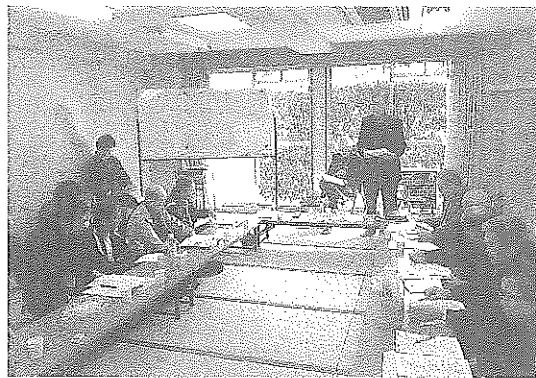
鳥山下町会では、数年前まで毎年10月に「敬老長寿の集い」を開催していましたが、参加者が少なくなつたため、取り止めとなつていました。「敬老長寿の集い」のかわりとして、毎年10月に開催される芦花まつりの催し物のひとつとして、町会主催で「敬老カラオケ大会」を何回か開催しましたが、騒音の苦情が出て、中止となりました。町会役員一同で、町会主催の催し物を何か開催できないかと検討していたところ、幸い、



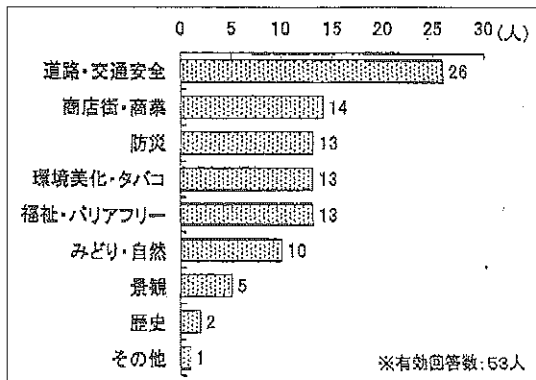
つなひき

世田谷文学館の協力が得られることになったので、同地で開催することにしました。ただ芦花公園駅の南側にロータリーが出来たので、そこの方が人が集まりやすいのではないかとの見込みもありました。しかし、実際に開催してみると世田谷文学館の南側は、道路も広く遊歩道もあるため十分なスペースが取れ、街路樹の新緑が素晴らしい背景となりました。

世田谷文学館の協力が得られることになったので、同地で開催することにしました。ただ芦花公園駅の南側にロータリーが出来たので、そこの方が人が集まりやすいのではないかとの見込みもありました。しかし、実際に開催してみると世田谷文学館の南側は、道路も広く遊歩道もあるため十分なスペースが取れ、街路樹の新緑が素晴らしい背景となりました。



まちづくり協議会会合



芦花公園駅周辺地区では、京王線の連続立体化を視野に入れて、具体的な街づくりの検討を進めるため、平成19年4月から「街づくり勉強会」を行い、平成20年4月に「街づくり懇談会」を充足させました。そこでは街歩きや地域の課題や魅力について意見交換、駅周辺の路上禁煙の検討などに取り組んできました。街づくり懇談会は、芦花公園駅周辺の町会・自治会と商店会のメンバーが中心となつて活動を進めてきました。

また、協議会発足に当り、街づくりへのアンケートによる関心がある分野では「道路・交通安全」が最も多く、以下「商店街・商業」「防災」「環境・タバコ」「福祉・バリアフリー」でした。今後も皆様の関心のあるテーマを参考にしながら街づくりを推進していきます。

たいと考えています。また、今年の3月13日には、街づくり検討会の一環として、活動を推進している北沢5丁目・大原一丁目地区の見学会を実施しました。街の案内や協議会活動の経過や課題の説明・意見交換などを行ないました。これからも地区の皆様の意見を聞きながら街づくりを進めていきたいと考えています。

まちづくり協議会事務局長 渡部 馨

芦花公園駅周辺地区街づくり協議会発足

初めての試みのため、運営面で至らぬ点もあったと思

いますが、第1回を礎として、第2回、第3回と来

以降も開催していきたいと決意しております。

烏山地域防災訓練行つ

烏山下町会会長 高橋和夫

平成22年5月16日(日)午前10時から正午まで、会場烏山中学校校庭にて、本年の烏山地域防災訓練を実施しました。

雨天が2年続きましたが、今年は好天に恵まれて、各町会・自治会を中心に旗を先頭に、集合場所である烏山中学校へと歩を進めて大勢の方が参加しました。

定刻の午前10時開会式が行なわれ、実行委員長挨拶に始まり、来賓を代表して地域区民防災会議会長の長島清一氏、引き続き、世田谷区議会を代表して、川上議長よりご挨拶を頂きました。



防災放水訓練

訓練に先だち本日参加団体・機関のご紹介があり、その後、訓練に入り会場内の各ブース見学や、又各種訓練の体験をしました。

特に成城消防署の方々による、衣類の繊維による燃え方の違いと、天ぷら油火災の消火の実演には、参加者の方々も熱心に見学していました。

又、自衛隊のブースでは、災害時に救助活動を行う特殊車両も展示され、装備されている機材等の見学もできました。



訓練集合風景

明を聞き、NITの災害時伝言ダイヤルの体験等をして

世田谷地域

地域振興と思いやりのある町会活動

世田谷東町会会長 新川勝二

(概況)

世田谷東町会の地域内には、世田谷区役所と国士舘大学、中学・高校もあり通勤通学時間ともなれば松陰神社前駅から大勢の人がおりてくる。区役所に行く道路に面した若林側には世田谷税務署と都税事務所が建っている。

世田谷線を横切って計画道路54号線が梅ヶ丘に向かつて建設中である。町会内には世田谷駅前商店街振興組合と松陰神社駅前商店街振興組合を抱えている。いずれも賑やかな商店街で、世田谷通りを挟んで住宅街を形成している。

(町会の組織及び運営)

区域は世田谷1丁目1番、3丁目14番、26番、4丁目全域と上馬5丁目19番で全世帯数は約1600世

ました。

最後に消防署・消防団により演習訓練があり、ポンプの一斉放水を行って終了しました。閉会にあたり成城消防署

担当者より講評をいただき、実行委員長の閉会の挨拶をもって、無事解散となりました。参加者一般400名・機関・学校等144名、計544名でした。

帯である。

執行部・専門部、地域部長を総して役員と称している。執行部・専門部には会長、副会長、会計、顧問で、専門部には総務企画部、防犯部、防火防災部、交通安全部、環境衛生部、文化厚生部、青少年部、施設管理部、監事であり、地域部長は第1部から第19部までお願いしている。役員会は毎月1回開催している。

(活動・行事)

(1) 防火防災活動

近年、防災、防犯といった安全安心の維持に対する人々の関心が高まっている。しかし、都市部を襲うかもしれない巨大地震に備え、その被害を軽減するために行政の対策には限界があり、住民自身による自助や



防災訓練

地域社会における共助が不可欠である。地震がいつ起きても大丈夫なように、万全の準備が必要で、「大きな心配、小さな安心」である。「戦後最悪の大地震」と言われる1995年の阪神・淡路大震災においても、共

助の意義が再認識されることになった。

世田谷東町町会は、防災に関して弦巻小学校が避難所・一時避難所に指定されており、その管理・運営を担当している。学校協議会の人達や消防署の協力をお願いして年1、2回防災訓練を実施している。

だが忘れてはならないのは、このような大災害に遭遇したとき、被災者住民自身がまず取り組まなければならぬのは、救出・救助・消火・避難といった緊急対応をめぐる近隣・地域社会での共助のことである。

町会としては、災害弱者や災害時要援護者に対してどう取り組むのか、真剣に考えている。必要なことはマップの作成やそのような時の安全確認や、大切なことは普段から人間関係を築いていくことが重要であり課題であると思っている。

(2) 防犯

また、高齢社会が進む中、高齢者一人暮らしや二人家庭、そして認知症などのお年寄りを狙い高額な健康器具や不要な住宅リフォームの契約を結ばせるなど、特定商取引法の違反事件が後を絶たない。摘発例からは、

悪質商法の「広域化」「手口の連鎖」に対し、無力なお年寄りの姿が浮かび上がっているという。

地域の人をもっと気をつけてあげるようにしたいと思っている。

(健全育成に向けて)

弦巻小の体育館を使わせてもらい、小学1〜6年生までの子どもがフットサルの活動をしている。約100人集まり毎週日曜日に行っている。7年続いているがリーダー、お母さん方の世話で大人顔負けのプレーで燃えている。

また城山小の総合型地域スポーツクラブの「しろやま倶楽部」でソフトバレーを3年前から、大人も子ども



フットサルクラブ弦巻キッカーズ

も一緒に毎週日曜日に約50人で行っている。

(地域の賑わい)

世田谷駅前商店街と世田谷東町会や地域の諸団体と協力して世田谷通り1区役所入り口まで、毎年11月始めに「楽市・楽座」を行っている。何万という人出があり、今年で10年目で毎回100店舗以上出店し、ミニボロ市といっている。

地域の賑わいを見せる。大切にしたものがあり、その他世田谷八幡宮の祭礼も町会員ごぞつて御輿を担ぎ賑わいを見せる。このような地域行事を大事に守っていききたい。



世田谷駅前・楽市楽座

町会長交替のお知らせ

平成22年6月1日現在

地域	町会・自治会名	新会長	前会長
世田谷	世田谷2丁目町会	志賀 榮次	小池 源一
	桜町会和	安藤 幸和	富田 松夫
北沢	駒沢親和会	白須 勝彦	柴田 悦雄
	代田南町会	磯元 正美	田川 敏男
北沢	代田北町会	秋田 正美	細野 喜一
	北沢2丁目南町会	吉田 園吉	松本 忠一郎
北沢	赤堤4丁目町会	尾崎 新彌	瀧野 武雄
	経堂赤堤通り団地自治会	作田 章一郎	藤木 富弥
玉川	東玉川町会	後藤 茂	石井 正
	等々力和敬会	大平 恒雄	高橋 範秀
玉川	尾山台3丁目町会	今村 孝子	二藤 克彦
	中町4・5丁目町会	粕谷 孝一	根岸 六郎
砧	馬事公苑前ハイム管理組合	牛尾 信重	山崎 裕
	船橋会	斎藤 眞	鈴木 幸次
烏山	都営第一八幡山団地自治会	鈴木 英文	鈴木 栄治
	コーシャハイム芦花公園自治会	鈴木 英夫	藤 榮治
烏山	パークアベニュー芦花公園自治会	佐藤 健雄	藤 榮治
	給田西住宅管理組合	古賀 徳一	浦野 勝雄
烏山	給田北住宅自治会	渡辺 康子	佐々木 静子
	コートヒルズ久我山自治会	金子 裕司	伊藤 廉之
烏山	烏山北住宅自治会	柴田 文吉	大上 幹夫
	烏山北住宅賃貸自治会	保科 行義	高石 洋一
烏山	北烏山みむね管理組合	目黒 則子	藤原 享

理事交替のお知らせ

地区	新理事	前理事
上町まちづくりセンター	安藤 幸和	富田 松夫
新代田まちづくりセンター	額賀 安平	細野 喜一
奥沢まちづくりセンター	後藤 茂	石井 正

編集後記

今号発行では目次にもありますように、町会自治会交流会や地域の歴史や活動、状況などの掲載やホームページを通じ町会・自治会の発展の助力になればと願っています。これから夏に向い町会・自治会のいろいろな事業に加え、選挙や国勢調査などで忙しくなりますが、それぞれのお立場でのご活躍を祈念いたします。